

資料検索

利用者メニュー

利用案内

施設紹介

よくある質問

デジタル地域資料



ログイン

ログインするとできること

- ▶ [利用状況の確認／貸出延長](#)
- ▶ [パスワードの変更](#)
- ▶ [メールアドレスの登録、変更](#)
- ▶ [ブックリストの作成など](#)

かんたん検索

検索

資料検索・予約

新着図書

予約ランキング

貸出ランキング

新聞・雑誌目録

テーマ別検索

お知らせ

- 2021年03月23日 **お知らせ** [瑞穂町図書館臨時図書室の開室時間の短縮について](#)
- 
- 2021年03月11日 **お知らせ** [\(中止\) 瑞穂町図書館講座 アンネのパラのお手入れ講座](#)
- 
- 2021年01月25日 **お知らせ** [瑞穂町図書館臨時図書室の開設について](#)
- 
- 2020年12月04日 **お知らせ** [第3回瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール結果発表](#)
- 
- 2020年12月02日 **イベント** [\(終了しました\) としょかんのクリスマス](#)

That's みずほ - あなたの知らない世界 >>



### みずほの昔ばなし (デジタル紙芝居)



[映像を見る>](#)

#### 『ザクザクおばば』

むかしむかし石畑村に亀丸、亀丸という兄弟がいました。兄の亀丸は ころきしんおうせいで、弟の亀丸はおくびょうでしたが、とてもなかのいい兄弟でした。  
[\(続きを見る\)>](#)



[映像を見る>](#)

#### 『蛇喰い吹右衛門』

むかしむかしまだ狭山池が富の池とよばれていたころのおはなし。池はいまよりずっとずっと大きく、大雨のたびにあふれてはあたりを水びたしにしていました。  
[\(続きを見る\)>](#)

### タイムトラベル いま・むかし - なつかしい風景・町並み (瑞穂町地域資料図書館・郷土資料館連携事業)



日光街道 明治35年撮影

瑞穂町では、図書館と郷土資料館が所有する地域資料等を、デジタル化してインターネットで公開しています。80箇所を瑞穂町の歴史や文化財、見どころを今と昔の写真で見比べたり、なつかしい音声を聞くことができます。

さあ、タイムトラベルに出発しましょう!!

[地図からタイムトラベル>](#) [地区別一覧からタイムトラベル>](#)

郷土資料館けやき館内の町全域航空写真「パースアイ瑞穂 (10×10m)」にタブレットをかざして「タイムトラベル いま・むかし」を見ることができます。

[⇒ 地域資料館専用タブレットのご利用について](#)

#### みずほ + 探検アプリ

アプリに表示される町内15か所のポイントをスタンプラリーで巡りながら「タイムトラベル いま・むかし」をお楽しみいただけます。

[⇒ 「みずほ探検アプリ」のダウンロードについて](#)

### 瑞穂町刊行物

瑞穂町が発行している、刊行物等の地域資料をデジタル化し、英語に翻訳しました。本文閲覧画面で、日本語の原文と英訳文がご覧いただけます。



[刊行物一覧>](#)

## 瑞穂町図書館／温故知新 — 瑞穂町を旅する地域資料



Move This Panorama! マウス操作で上下左右に動かすことができます。  
平成31年(2019)3月2日 午前9時9分 瑞穂ビューパーク上空120メートルより撮影

### That'sみずほ - あなたの知らない世界

狭山茶、シクラメンなどの産物や、多摩だるま、村山大島紬といった工芸品だけでなく、最新鋭の技術を導入した酪農や、知る人ぞ知る、ディープなみずほを営めました。あなたのよく知る瑞穂町の、あなたの知らない世界へようこそ。

 <a href="#">狭山茶</a>	 <a href="#">多摩だるま</a>	 <a href="#">村山大島紬</a>	 <a href="#">酪農</a>
 <a href="#">ワンダーみずほ</a>	 <a href="#">瑞穂の方言 (音声付き)</a>		

< 茶摘み >

茶摘みは八十八夜の頃に始まります。古くから手摘みで摘み取られてきましたが、現在は乗用型摘採機を使用しています。手摘みは新芽だけを摘むことができるため、茎が少なく大きさがそろった茶葉ができます。かつてはたくさんの摘手を雇って摘みましたが、今では一軒分の茶園を一人で摘採しています。



< 製茶 >

摘まれた生葉は蒸し・揉(も)み・捻(より)乾燥の工程を経て私たちがよく知る煎茶になります。手もみは生葉を蒸したあと、焙炉(ホイロ)と呼ばれる台の上で加温しながら、4~7時間かけて揉みながら乾燥させて煎茶に仕上げます。出来あがった手もみ茶は針状で艶があり、お湯を注ぐと元の茶葉の形が現れます。



< 比べてみよう >

左は手摘みした生葉を手もみした煎茶、右は機械摘みした生葉を機械で加工した煎茶です。お湯を注ぐとどうなるでしょうか。



福祿寿では約100年ものからなる作りが行われてきました。「東京だるま」「京都だるま」と呼ばれて親しまれ、現在も「だるま職人」がその技を伝承し続けています。もともとだるま作りは農家の副業で、その農閑期にこつこつと手作りで作られたものです。今もひとつひとつ手作りで、顔や形に個性があります。近年では「だるま抱き猫」やさまざまな色柄のだるまが登場し、人気を博しています。

映像を別ウィンドウで見ると

< 多摩だるまの製作工程 >

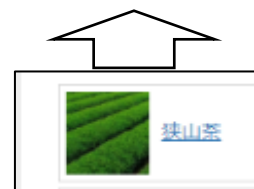
- だるまの木型 3D画像
- ① 木型に下貼り(水貼り) ② 上貼り(のり貼り)
- ③ 抜き ④ あわせ ⑤ 皮付け ⑥ 弁慶にさせて干す
- 顔の茶のだるま 3D画像
- ⑦ 桜餅塗り ⑧ 弁慶にさせて干す
- ⑨ 赤塗り ⑩ 弁慶にさせて干す
- ⑪ 顔を白く塗る ⑫ 顔描き

多摩だるま(東京だるま)は、顔が白いこと、鼻が高く彫りが深いこと、眉と髭の書き方が簡潔なこと、目の縁に墨を加えることなどが特徴です。



< 関連する資料 >

- >> 『福祿寿史』掲載『福祿のだるま』を見る
- >> たましん 地域文化財団『茶園のあゆみ』第29号掲載記事を見る



### < 村山大島袖について >

大正以前は綿織物が生産されていたが、大正年間に綿織物の人気が低迷し、逆に都市部での綿織物の人気が高まると、現武蔵村山市で、綿織物の村山大島袖が開発され人気となった。そのため、隣接する瑞穂町域でも綿織物生産が盛んとなった。村山大島袖は家内制手工業形態で生産されたため、当時の瑞穂町内では、たいていの家から織織りをする音が聞こえたものである。（「瑞穂町町制施行70周年記念誌」より）



### < 関連する資料 >

- >> 『瑞穂町史』掲載【瑞穂織物略史】を見る
- >> たましん地域文化財団『多摩のあゆみ』第2号掲載記事を見る



### < 酪農について >

瑞穂町で牛が飼われ始めたのは明治年代中期からです。当初は牛を飼っても農耕や運搬に活用し、明治末から搾乳が盛んになりました。瑞穂町は酪農が盛んで、近隣の農家をまとめて昭和9年に奥多摩酪農組合が箱根ヶ崎にできました。戦時中は一時激減したものの、戦後復興と共に西多摩牛乳として発展し、一時は明治・森永牛乳に匹敵するほどでした。昭和40年頃には専業経営する農家が主になりました。昭和41年には牛を飼育する農家が220軒、飼育頭数は1,500頭にもなり、東京都下で第1位の生産量を誇りました。

### < 最新鋭のシステム >

瑞穂町には、東京都で唯一、自動搾乳ロボットを導入している酪農家があります。

24時間いつでも自動的に搾乳してくれるこのシステムは、ICチップで1頭1頭の牛を管理していて、牛たちはおっぱいが張ってくると自分で搾乳ロボットのところに行き、餌を食べながら搾乳してもらうというシステムです。



### < 関連する資料 >

- >> 『瑞穂町史』掲載【我が町の酪農】を見る



[フンダーみずほ](#)

#### < みずほのひまわり >

狭山池上流部、町民農園とJR八高線の線路との間に約4000平方メートルもの広さのひまわり畑があります。みずほきらめき回廊の基本ルートの1つ、「農と水辺とエコロジーの回廊」のルート上に位置します。

##### ひまわり



[映像を見る](#)

#### < 六道山ナイトウォーク >

夏の夜、六道山ではたくさんの生き物が見られます。都立野山北・六道山公園を管理する西武・狭山丘陵パートナーズが主催する「ナイトガイドウォーク」で、レンジャーと一緒に夜の里山を巡りました。

##### ナイトガイドウォーク



[映像を見る](#)

#### < みずほ育ちのシクラメン >

瑞穂町では昭和50年頃(1975)からシクラメンを中心に、花作りが盛んになりました。シクラメンは都内最大の生産量を誇ります。

##### シクラメン



[映像を見る](#)

#### < 桜沢のかいばり >

#### 運転席からの眺め

##### 東福生～箱根ヶ崎



[映像を見る](#)

##### 箱根ヶ崎～金子



[映像を見る](#)

##### 早回し(東福生～金子)



[映像を見る](#)




あ い う え お

が行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や・ら・わ行 「」ん

実際使用例 (あ～わ行)

動物・植物・昆虫等の呼び名

あ

方言・俚言	意味	使用例 (一部音声付き)
ああぜ	なぜ	
ああに	いや、否	例1 
あおんずら・あおんずう	青い顔をしている人	
あかつこ	赤んぼう	例2
あがらっしええ	お上りください	例2
あかるむ	果物や農作物が熟す	
あきねえ	商人	
あきねえや	商店	
あくせいする	あきれかえる	例3
あくてえ	悪口のこと	
あぐ	あご	
あげえてやがる	あがき (欲をかく)	例7
あごぬく	上向き	
あさっぱら	朝	
あさづくり	朝食前の一仕事	
あしっこ	足あと	
あじょうにも	願望のことば	例4
あすけえら	あの辺	
あすんべーや	遊ぼう	
あげっぼう	畑のあげ	



## 瑞穂町図書館／温故知新－瑞穂町を旅する地域資料

### タイムトラベル いま・むかし

目次 [すべてたたく](#)

#### 殿ヶ谷地区

- 滝田谷津
- 桜沢
- 殿ヶ谷会館
- 村山土佐守義光像
- 瑞穂第五小学校
- 殿ヶ谷公会堂
- 阿豆佐味天神社
- 殿ヶ谷の山車庫・神輿庫
- 福正寺

#### 石畑地区

- 姥神谷津
- 一等三角点
- 六道山公園
- 横田基地
- 石畑村駐在所（上駐在）
- 消防団第三分団
- 瑞穂町民会館
- 瑞穂中学校**
- 瑞穂町図書館
- 狭山谷の天狗像



## 瑞穂町図書館／温故知新－瑞穂町を旅する地域資料

### タイムトラベル いま・むかし

#### 石畑地区

#### 瑞穂中学校



平成28年8月



昭和18年頃

昭和23年(1948)に町営グラウンドの場所に瑞穂中学校が設置されましたが、臨時する横田基地の拡張に伴い、昭和28年(1958)に現在の場所に移転しました。この場所は戦中では陸軍の射撃場として、戦後は米軍の射撃場に使われていました。  
所在地：瑞穂町大字石畑1901-1

[関連する資料を探す](#) [地図を見る](#)

▶ 0:00 / 0:00

瑞穂中学校校歌（平成28年1月録音）を聞く

♪ 歌詞を見ながら聞く



## 瑞穂町刊行物

### Mizuho Town publications

瑞穂町が発行している、刊行物等の地域資料をデジタル化し、英語に翻訳しました。  
本文閲覧画面で、日本語の原文と英訳文がご覧いただけます。  
また、各地域資料の概要が書かれた目録や本文、年表を対象とした「検索閲覧システム」もご利用可能です。

Some publications issued from Mizuho Town has been digitalized and translated into English. Original Japanese text and English translated text can be read at the text browser.

\* Except for 『History of Mizuho Town』 and 『Mizuho Flora and Fauna』,  
Also, from the retrieval browsing system, lists with summary, texts and chronological tables of each publication can be viewed.  
( For 『History of Mizuho Town』 and 『Mizuho Flora and Fauna』, only the list and summary is available.)

わたしたちの瑞穂町 Mizuho, Our Town		<a href="#">目録 Catalog</a>	<a href="#">本文閲覧 Text reading</a>	-
瑞穂町と横浜基地 The Town of Mizuho and the Yokote Air Base		<a href="#">目録 Catalog</a>	<a href="#">本文閲覧 Text reading</a>	-
瑞穂の地名 The Place Names of Mizuho		<a href="#">目録 Catalog</a>	<a href="#">本文閲覧 Text reading</a>	-

## 瑞穂の地名

### The Place Names of Mizuho

#### Contents

[表紙]

[標題紙]

はじめのことば

あいさつ

序

目次

箱根ヶ崎

(検地帳記載)

旧箱根ヶ崎村の地名について

一、箱根ヶ崎

二、街道について

(一)日光街道

(二)青梅街道(おうめかいどう)

(三)大江戸街道

(四)秩父海道

(五)江戸海道

(六)下海道

(七)大神街道

(八)福生街道(ふっさかいどう)

(九)羽村街道

[Cover]

[Title page]

Opening words

Greetings

Introduction

Contents

Hakonegasaki

(Recorded in the Kenchi-cho (land ledger) )

On the place names of the old Hakonegasaki Village

1. Hakonegasaki

2. About Kaido (highways or main roads)

(1) Nikko Kaido

(2) Ome Kaido (青梅街道, blue plum sea way)

(3) Oedo Kaido

(4) Chichibu Kaido

(5) Edo Kaido

(6) Shimo Kaido

(7) Okami Kaido

(8) Fussa Kaido

(9) Hamura Kaido

### 瑞穂の地名

二、街道について 2. About Kaido (highways or main roads)

(四)秩父海道 (4) Chichibu Kaido

俗に藤橋街道、七日市場街道、小布市街道(こぶいちかいどう)等と呼ばれている。青梅街道が八高線の踏切りを越してから約一〇〇m西に行くと、宗安塚のところで二又に分れる。右方の道が秩父街道である。第二中学校の裏をすぎても軒新田を通りすぎると所沢-青梅往還と交差する。更に北進すると坂にかかりやがて豊岡-青梅往還と交差する。ここが七日市場であり更に鶴川を渡って笹仁田(ささにた)峠に達する。この道を下ると岩蔵温泉につき当る。直竹(なおたけ)-名栗を経て秩父に至るコースである。

It was popularly known as Fujihashi Kaido, Nanoka-ichiba (the market which opens on the days with "7", i.e., 7th, 17th and 27th of the month) Kaido, Kobiuchi Kaido, etc. Ome Kaido is divided into two at the Muneyasu-zuka which is about 100 m west of the railway crossing with the Hachiko Line. The road on the right hand side is Chichibu Kaido. Further down to the west, after passing through the back of Mizuho 2nd Junior High School and Shichiken-Shinden (seven houses shinden), Chichibu Kaido crosses over Tokorozawa-Ome Okan highway. Further north, it passes a slope and soon reaches the crossing with the Toyo'oka-Ome-Okan. This is the Nanoka-Ichiba, and